



1/29 (日) . 2/18 (土)

## 県地区対抗女子駅伝・県下一周駅伝 郷土の誇りを胸に疾走

1月29日(日)に第36回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会が開催され、出水チームが20年ぶりの優勝を目指して力走しました。

本町川床出身の久保亜美さん(鹿児島銀行)は最終区の6区を走り、4位で受け取ったたすきを3位に上げ、区間賞の走りを見せました。

チームは惜しくも総合3位でしたが、出走者6人のうち3人が区間賞という活躍を見せ、来年に期待が持てる結果となりました。



見事な走りを見せた久保選手



田ノ上選手(写真左) 樋渡選手



小崎選手

2月18日から22日の5日間で、53区間583.7<sup>キ</sup>を争う第70回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催されました。

本町からは特別区(第70回記念大会区)を白濱聖奏さん(藤之元・平尾中学校3年)、通常区を小崎愛大さん(茅屋・出水中央高校3年)、樋渡速太さん(菅牟田・長島町役場)、田ノ上尚吾さん(菅牟田・同役場)の4人と、コーチとして丸橋雄太さん(伊唐・同役場)が選出されました。

出水チームは郷土入りとなる第2日に3年連続、最終日には54年ぶりとなる日間優勝を果たし、総合4位の活躍を見せました。

2/28 (火)

## 職業奉仕賞を受賞 ジャガイモ生産に貢献



受賞した大漣さん(写真右から2人目)

2月28日、エグチベジフル株式会社(江口輝文代表)勤務する大漣和也さん(平尾中南)が職業奉仕賞を受賞しました。

賞は阿久根ロータリークラブが毎年行っていて、職業奉仕の精神を体現している個人や法人に贈るものです。

大漣さんは会社で管理する約20<sup>ヘクタール</sup>の農場の栽培責任者として安心安全で良質なジャガイモ生産に大きく貢献しています。

大漣さんは「このような賞をいただき光栄。まだまだ改善点があるため、より良いジャガイモを作っていきたい」と話しました。